

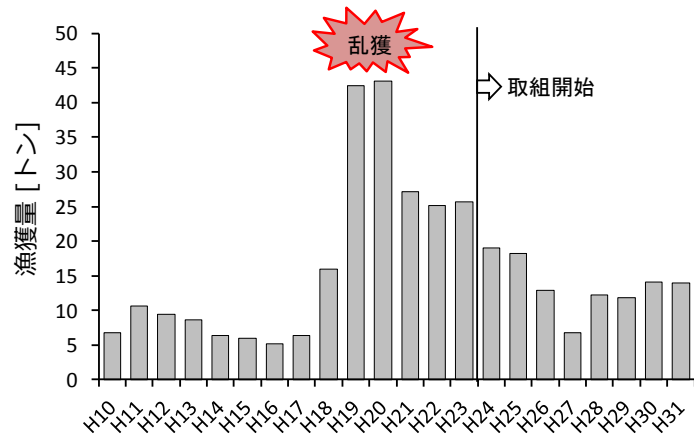
宮津湾のナマコ資源状況を調査

宮津湾のナマコ漁業者は、乱獲によって減少したナマコ資源の復活に向け、平成24年頃から漁獲量やサイズ規制（300 g以下はリリース）などの自主的な資源管理に取り組んでいます。当センターでは、その効果や翌年の資源状況を把握するため、漁業者及び京都大学と共同で、漁期前後のナマコ資源状況を平成29年から毎年調査しています。

漁期終了直後の4月16日に、宮津湾内の50か所で底曳き網によってナマコを採集した結果、来漁期から漁獲対象となる小型ナマコの資源量が過去2年に比べて少なく※、今後の漁獲量に影響する可能性も考えられました。これらの調査結果をもとに、ナマコ資源を効率的かつ持続的に利用するための管理方策を漁業者とともに考えていきます。



採集されたナマコ



宮津湾のナマコ漁獲量の年推移

※ 今回の調査で採集された 300g 以下のナマコは、平成 27～28 年に産まれた 3～4 歳群です。これまで漁獲の影響を受けたことのない若齢群であり、減少の原因は乱獲ではなく産まれたときの環境が不適であったためと考えられました。